

計画相談支援 出張説明会について

1 背景

当部会におけるセルフプランに関する協議にて、基幹相談支援センターと各相談支援事業所間で「連携体制の強化」が必要であること、また、区のセルフプラン率をゼロにすることではなく、「相談支援事業者が関与することで利用者にとって有益なサービス提供につながる」ことを知ってもらうことが、当事者はじめ、関係機関にも周知される必要があることを確認した。

「セルフプランの達成目標」

セルフプラン率を0（ゼロ）にすることが目標ではなく、受け入れ態勢を整備したうえで、障がい児（者）・保護者に「相談支援専門員等による作成」、または「セルフプラン」を選択してもらうことをめざす。【令和3年度第1回相談支援部会にて協議・決定】

これを踏まえ、令和4年度から、基幹相談支援センターと各相談支援事業所間で「連携体制の強化」に取り組むとともに、セルフプラン利用者が計画相談支援に関心を持ってもらう機会の創出として、『計画相談支援 出張説明会』を開始した。

2 出張説明会の概要

（1）目的

板橋区にある各種団体を対象に「計画相談支援」の理解・周知を図り、障がい当事者、又は保護者等に「相談支援専門員による計画相談支援」を選択肢として提案する。（セルフプランを否定するものではない）

（2）実施主体

相談支援部会員・区職員（障がい政策課相談事業推進係、障がいサービス課地域支援係）

（3）主な内容

計画相談支援とは、計画相談支援の魅力（例：身近な相談相手ができる）など

（4）出張先の例

親の会、特別支援学校の就労説明会、福祉園保護者会 など

3 実績

No.	日程	依頼団体等	説明者（行政除く）	参加者数
1	令和5年3月28日	高島平福祉園家族会 （生活介護・就労継続支援B型）	藤原部会員、斎藤氏（知的障がい者相談員）	21名
2	令和5年7月26日	高島特別支援学校教員	土岐部会員、藤井部会員	60名
3	令和5年10月19日	板橋区ダウン症児・者親の会 「ほほえみの会」	内田（高）部会員、渡辺部会員	14名
4	令和6年3月19日	赤塚福祉園家族会 （生活介護・就労継続支援B型）	藤原部会員、塩尻部会員	30名

4 【参考】No.4 赤塚福祉園家族会のアンケート結果

(1) 回答者数

参加者数	30 名
アンケート回収	11 名（回収率 36%）

(2) アンケート結果

「設問 1」参加者ご自身について

（単位 人）

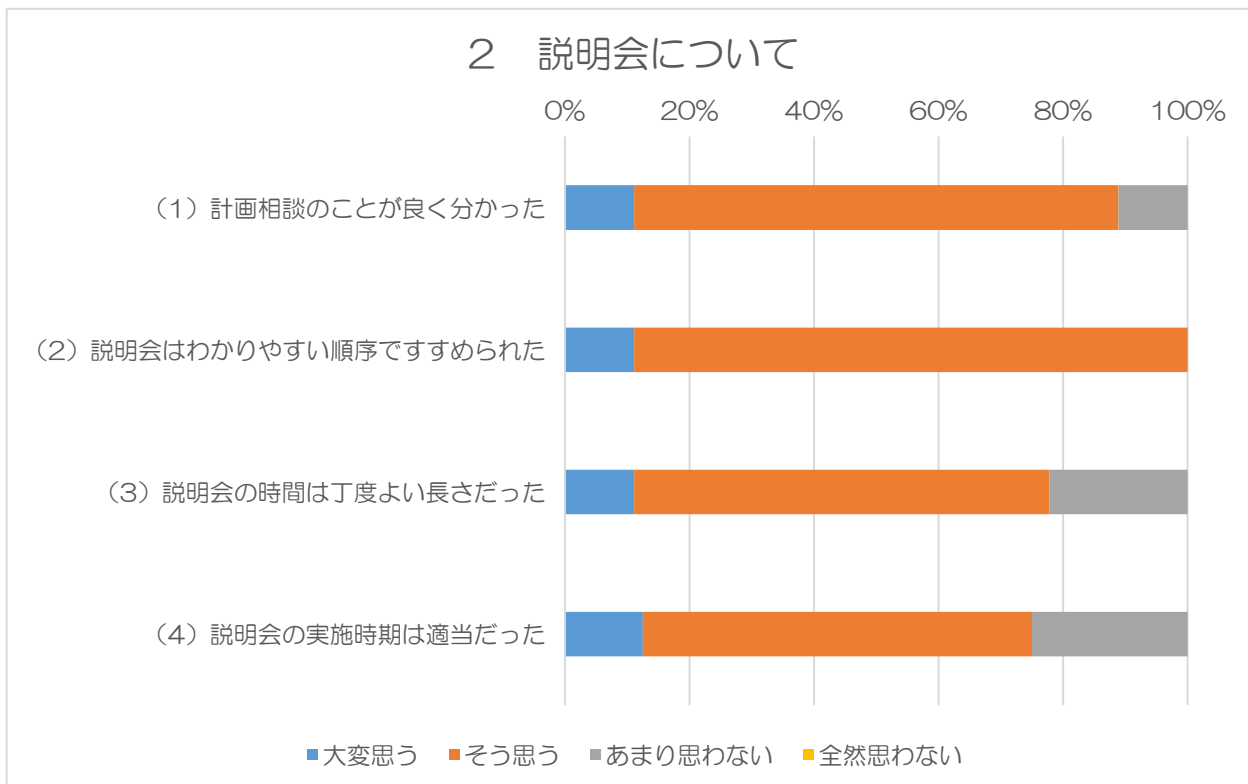
設問	回答番号	①	②	③	④	計
1 所属先	①生活介護 ②就労継続支援 B 型	5	6			11
2 計画相談の利用	①利用している ②利用していない	10	1			11
②の選択理由	①セルフプランが良い ②計画相談がよく分からない ③必要ない ④その他	1	0	0	0	1

「設問 2」説明会について

（①大変思う ②そう思う ③あまり思わない ④全然思わない）

（単位 人）

設問	①	②	③	④	計
1 計画相談のことが良く分かった	1	7	1	0	9
2 説明会はわかりやすい順序ですすめられた	1	8	0	0	9
3 説明会の時間は丁度よい長さだった	1	6	2	0	9
4 説明会の実施時期は適当だった	1	5	2	0	8



「設問3」参加してよかったと思われる点やご質問を自由にお書きください。

- ・改めて計画相談支援を利用してよかったと思いました。計画相談支援のことがより良く分かりました。
- ・計画相談支援を利用していますが、モニタリングを一定期間毎に実施すると書いてありますが、最近、モニタリングに来てもらっていないので、モニタリングは、こちらから言わないといけないのでしょうか？
- ・計画相談員を替えることはできますか？
- ・お世話になった方がお話をされていてつながっているって感じた。
- ・年をとるにつれて、自分自身の老人ホーム入所等をして、子どもの成年後見利用などうまく相談しながらつなげていけたら良いと思います。
- ・自分はある程度相談支援を理解しているし、利用もしているので、だいたいわかったが、よくわからない人にとっては、わかりにくい説明だった気がする。
- ・数年前から利用させて頂いているのですが、あらためて内容の確認が出来たこと、新しい事柄、知らなかった事もあり、参加出来て良かったです。
- ・現在身体的にも大丈夫であるが、年齢をかさねたときどうなるか今後のことを検討したい。

「設問4」今後取り扱ってほしいテーマ・内容等を具体的にお書きください。

- ・区内にできる身体障がい者のグループホームについて
- ・自立について
- ・施設入所を希望しているが、施設でどうやって生活させていただけるのか、不安に思ったり。
- ・障がい者の親の方が年をとったら共に障がい者になりますが、障がい者も親も含めてそれぞれの支援を計画していただけるのでしょうか。どのような具体的な流れがあるか。
- ・親亡き後・・・現在B型作業所に通う程度の知的障がい者は、どの様にどこにサポートされ、生活していくのか。
- ・成年後見制度・・・親が存命のうちに決めた方が良いのか。メリット・デメリット等、全く？？なので知りたいです。
- ・区内のグループホームの現状や課題なども知りたいです。
- ・“親なきあと”の様なことを知りたいです。

(3) 終了後の振り返り

①内容について

- ・説明時間が1時間という制約もあり、時間の余裕がなかった。質疑応答を通して参加者とコミュニケーションを深めようとも考えていたが、区の組織改正に関する通知を発送した時期だったため、質問は区の組織改正のことのみであった。
- ・アンケートを提出して下さった人は、「セルフプランが良い」との理由で計画相談を利用していない人が1名だけで、他の人は利用している状況であった。計画相談を利用している人

から、理解が深まったというご意見もあり、利用している人にも有効であった。

- ・会の終了後、一部の方から良く分からなかったから簡単な言葉でゆっくり説明してほしいとのご意見があった。

②今後の説明会について

- ・アンケート結果から、複数の方が「成年後見制度」や「入所施設・グループホーム」といった「親亡き後」について希望されていた。そのため、地域生活支援拠点の要素を組み込んだり、実際に入所施設やグループホームに入居された方、あるいは成年後見制度を利用している方を加えたりして説明会を開催すると、満足度があがると思われる。

5 令和6年度の実施予定

No.	日程	依頼団体等	説明者（行政除く）	参加者数
1	令和6年9月13日	蓮根福祉園家族会 （就労継続支援B型）	未定	—